

意外と深刻!

Enjoy Education!
vo1.3

私たちの悩みって、 誰に相談すればいいのかな？

知れば
なるほど!
学校と教育

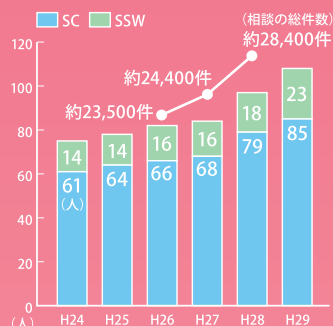
家族にも、先生にも言えない。悩みを抱えた子どもを、ひとりぼっちにしないために。
学校には安心して相談できる、こころと福祉の専門家がいます。

現在、福井県の小中高校はスクールカウンセラー 85名、スクールソーシャルワーカー 23名体制で子どもたちの悩みに対応しています。しかし、スクールカウンセラーへの相談件数だけでも年間約2万8400件(H28年度)にのぼり、現在の体制では増え続ける相談に十分な対応ができなくなる可能性があります。

相談内容は友人関係や家庭環境、進路の悩み

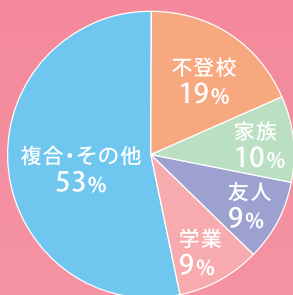
が複雑にからみあっています。なかにはいじめや不登校にエスカレートしていくケースもあります。スクールカウンセラーは、そんな子どもたちの相談に乗り、親や先生とは違う立場から悩みに寄り添う“こころの専門家”。場合によってはスクールソーシャルワーカーと連携し、福祉のサポートを得ながら問題解決にあたります。子どもからのサインを見逃さず、問題をできるだけ早く解決するためには、保護者と学校、専門家が三位一体となって支援していく必要があります。だからこそ、スクールカウンセラーや相談員・支援員の増員が求められているのです。

子どもたちが安心して学校に通い、楽しく学べる毎日を目指して、私たち県教組はこれからも各方面に対し、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの増員を働きかけていきます。



相談件数および、SC・SSWの数

上記は、平成26～28年度の小・中・高校生から寄せられた相談件数(折れ線グラフ)と、平成24～29年度のSC・SSWの数(棒グラフ)である。(月刊URALA調べ)



相談内容の割合

相談件数約2万7000件(平成28年度)※小・中学校のみ
上記は、SC・SSWに寄せられた相談の内容の内訳である。「複合」は、不登校やいじめ、友人関係など、さまざまな要因が重なった内容である。(月刊URALA調べ)

スクールカウンセラー (SC)

臨床心理士などの資格を持つ専門家。子どもたちの心理的な問題にアプローチし、心の成長や発達をうながす教育や支援を行います。保護者や教職員からの教育に関する相談にも対応します。

スクールソーシャルワーカー (SSW)

社会福祉士などの資格を持つ専門家。子どもを取り巻く環境が抱える問題にアプローチし、家庭や関係機関につなぎ、福祉・医療などと結びつけることで問題解決をサポートしていきます。

相談員・支援員など

悩みや不安、ストレスを気軽に話せる、身近な話し相手のような存在です。免許等は不要。教育や子育て経験が豊富な方が多く、子どもに近い目線で相談に応じ、学校生活の支援を行っています。



子どもたちの未来を、もっとよくするために福井県教職員組合は活動しています。

福井県教職員組合 〒910-8544 福井市大手2-22-28 福井県教育センター内 電話 0776-23-1887 ファクス 0776-23-2919 <http://www.ftu.or.jp/>